

● 日本の主な火山活動

口永良部島の新岳では、2015 年 6 月 19 日の噴火後、噴火は観測されていない。

2015 年 5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、引き続き噴火の可能性があり、火砕流に警戒が必要である。火砕流の流下による影響が及ぶと予想される屋久島町口永良部島の居住地域（前田地区、向江浜地区）では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。

噴火に伴う大きな噴石の飛散が予想される新岳火口から概ね 2 km の範囲及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね 2.5 km の範囲では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。新岳火口から半径 1.4 海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶおそれがあるので、噴火に警戒が必要である。

西之島では、2015 年 11 月下旬以降、噴石等を放出する噴火や溶岩の流出は確認されていない。12 月以降は地表面温度の低下が確認されているが、4 月及び 5 月の観測で白色噴気の放出が確認されている。

これまで 2 年以上活発な火山活動が続いてきたことから、火口から概ね 1.5 km 以内では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。また、火口から半径 0.9 海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶおそれがあるので、噴火に警戒が必要である。

桜島の昭和火口では、噴火を 22 回観測し、このうち爆発的噴火は 2 回であった。南岳山頂火口では噴火を 3 回観測した。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

吾妻山では、大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いており、小規模な噴火が発生する可能性がある。大穴火口周辺（火口から概ね 500 m の範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜火口の北から北東内壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面で熱活動の活発な状態が継続している。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス組成及び湯釜湖水の化学成分の火山活動の活発化を示す変化や、湯釜の水温が平年よりも高い状態が観測され、継続している。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、2015 年 6 月 19 日の噴火後、噴火は観測されていない。

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震はやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がある。山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山では、2014 年 10 月以降噴火の発生はなく、火山活動は緩やかな低下傾向が続いている。火口列からの噴煙活動や、地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山の中岳第一火口では、1 日 05 時 45 分にごく小規模な噴火が発生した。

中岳第一火口では、時々小規模な噴火が発生していることから、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、新燃岳付近を震源とする火山性地震が時々発生した。

GNSS 連続観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015 年 1 月頃から停滞している。また、新燃岳周辺の一部の基線では、わずかに伸びの傾向がみられていたが、2015 年 10 月頃から停滞している。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性があるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、爆発的噴火が 5 回発生するなど、活発な火山活動が継続した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

新潟焼山では、1 日以降、振幅の小さな火山性地震が増加した。2 日以降減少しているが、低周波地震も時々発生している。6 日の上空からの観測で、山頂東側斜面に、ごく小規模な噴火に伴うものとみられる降灰を確認した。

今後も、想定火口内（山頂から半径 1 km 以内）に影響を及ぼすような噴火が発生するおそれがあるため、火山活動の推移に注意が必要である。想定火口内は、平成 28 年 3 月 2 日から、地元自治体等により立入規制が実施されている。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないよう注意が必要である。

三宅島では 11 日 23 時頃から 12 日 03 時頃にかけて火山性微動が発生するとともに、火口の南東から南方向が沈降する傾向の変動が観測された。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、12 日に 1 日あたり約 1,200 トンと一時的に増加した。

火口内では噴出現象が突発的に発生する可能性があるので、山頂火口内及び主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に警戒が必要である。火山ガスの放出が継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意が必要である。

表 1 5 月 31 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
（※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火警報	レベル 5（避難）	口永良部島※
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	桜島
	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、浅間山、御嶽山、阿蘇山、 霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、新潟焼山、焼岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の活火山

※噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 5 月 31 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 28 年 5 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
口永良部島	噴火警報 (噴火警戒レベル 5、避難)	解説情報 第 37 号～45 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。現地調査の状況。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 26 号～34 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日、30 日 16 時 00 分	爆発的噴火による大きな噴石の飛散状況。 噴煙、火山性地震、火山性微動等火山活動 の状況。現地調査の状況。
		降灰予報（速報）	1 日 15 時 49 分 1 日 16 時 38 分 8 日 02 時 24 分 13 日 16 時 49 分 16 日 06 時 41 分 18 日 12 時 48 分 21 日 09 時 04 分	噴火発生から 1 時間以内に予想される降灰 量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	1 日 16 時 05 分 1 日 17 時 08 分 8 日 02 時 40 分 13 日 17 時 05 分 16 日 07 時 00 分 18 日 13 時 05 分 21 日 09 時 20 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される降 灰量分布や降灰開始時刻を予想。
吾妻山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 18 号～22 号	2 日、9 日、16 日、 23 日、30 日 16 時 00 分	噴気、地殻変動、火山性地震等火山活動の 状況。全磁力観測等現地調査の状況。
		火山活動解説資料	20 日 16 時 00 分	19 日に実施した現地調査の状況。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 19 号～22 号	6 日、13 日、20 日、 27 日 16 時 00 分	熱活動、地殻変動、火山性地震等火山活動 の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 36 号～44 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 火山ガスの観測等現地調査の状況。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 19 号～23 号	6 日、13 日 16 時 00 分 13 日 19 時 00 分 20 日、27 日 16 時 00 分	噴煙・火山性地震等火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 36 号～44 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日、30 日 16 時 00 分	噴火活動、噴煙、火山性地震・微動等火山 活動の状況。火山ガスの観測等現地調査の 状況。
新潟焼山	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	火山活動解説資料	6 日 12 時 00 分	1 日以降やや増加した振幅の小さな火山性 地震や 4 日以降の低周波地震発生等の状況。
			6 日 20 時 45 分	6 日に実施した上空からの観測の状況。山 頂東側噴気孔周辺に降灰確認。
			9 日 15 時 00 分	1 日に増加した振幅の小さな火山性地震の その後の状況等。
三宅島	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	火山活動解説資料	12 日 16 時 00 分	11 日 23 時頃から 12 日 03 時頃にかけての火 山性微動の状況。12 日に実施した火山ガス の観測等現地調査の状況。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島、口永良部島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。